

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 253

■ 第1回ものづくり中小企業向け固有技術探索基礎講座（会員限定）

ものづくり中小企業の皆様が次世代自動車に対応するためには、自社の「固有技術・技能」を認識し活用してレベルアップを図るとともに、次世代自動車に搭載される部品の開発や生産性向上、品質改善など現場改善に取り組むことにより「提案力の向上」を目指して、次世代自動車のビジネスを獲得することが重要です。

そのため、次世代自動車センター浜松では、自社の技術や技能を見える化する手法として、当センターが開発しました固有技術探索チャートを作成していただく「ものづくり中小企業向け固有技術探索基礎講座」を開催しています。

今回、本年度第1回の基礎講座を開催し、第1日目は、当センターの望月センター長が講師となって、固有技術探索活動の概要やチャート情報調査票の作成方法を、第2日目には、固有技術探索チャートや評価指標の作成方法を学んでいただき、講座の期間を通じての個別相談会を開催し、参加企業の皆様に固有技術探索チャートの作成に取り組んでいただきました。

- 日 時 : (第1日目) 令和6年5月27日(月) 13時30分~14時40分
(第2日目) 令和6年6月28日(金) 13時30分~14時50分

■ 場 所 : Web形式

■ 参加者 : 2社/5名

<第1日目>

固有技術探索活動基礎講座

2024年度 第1回
「ものづくり中小企業向け固有技術探索活動基礎講座」
第1日目講座

令和6年 5月 27日(月)

次世代自動車センター浜松 センター長 望月英二



10 ものづくり中小企業向け固有技術探索活動とは？《活動の目的》

「ものづくり中小企業向け固有技術探索活動」の目的

- (1) ものづくり中小企業が次世代自動車に対応するためには、客先に対する提案力を向上させて、ビジネスを獲得する必要がある。
- (2) ものづくり中小企業が次世代自動車のビジネスを獲得するためには、部品の製造に関わる技術や技能の強みを活かして、客先に提案する必要がある。
- (3) ものづくり中小企業の固有技術探索活動を行うことによって、ものづくり中小企業が持っている技術や技能の強みや弱みを見える化することができる。

13 ものづくり中小企業向け固有技術探索活動とは？《探索チャート作成の流れ》

「固有技術探索チャート」作成の流れ

1. 情報調査票を用いた調査
2. 固有技術探索チャートの作成
3. チャート評価指標作成

情報整理 → 保有技術・固有技術の洗い出し(強み・弱みの確認) → 探索チャートの評価

24 「固有技術探索チャート」の活用方法《技術伝承と人材育成》

活用方法 その1 (技術伝承と人材育成)

- (1) 背景
 - ・次世代自動車の時代に生き残るためには、自社の技術伝承や人材育成を実施する必要がある。
- (2) 活用方法
 - ・「ものづくり中小企業向け固有技術探索チャート」を作成し、自社が持っている固有技術や固有技能とそれに関わる担当者を明確にして、技術の伝承や人材の育成を進める。

29 チャート情報調査票の作成方法《チャート情報調査票の概要》

チャート情報調査票の概要説明

「チャート情報調査票」とは、「ものづくり中小企業向け固有技術探索チャート」を作成するために必要な情報を記載する調査票である。

1. 会社概要
2. 製造設備環境に関する事項
3. 製造準備に関する事項
4. 製造工程に関する事項
5. 検査工程に関する事項
6. 製造現場の状況に関する事項
7. 製造技術・技能に関する事項

<第2日目>

固有技術探索基礎講座

2024年度 第1回
「ものづくり中小企業向け固有技術探索基礎講座」
第2日目講座

令和 6年 6月 28日(金)
次世代自動車センター浜松



15 「固有技術探索チャート」への落とし込み方法《概要》

「固有技術探索チャート」への落とし込み方法の概要

プロセス

【保有技術探索】

【保有設備】

【保有技術・技術】

【製造準備】

【検査】

次に、チャート情報調査票に基づいて、製造準備から製造、検査までのプロセス毎に保有技能と保有技術を「すべて」チャートに落とし込む

製造部品名

保有技術・技能
(強みのある固有技術・技能)

そして、チャートに書かれた保有技能と保有技術の中から企業の強みである「固有技能」と「固有技術」を見つけ出す(探索)

28 「固有技術探索チャート」への落とし込み方法《チャートの作り方》

固有技術探索チャートの作り方 (プロセス: 製造準備)

【記入例】

項目	記入内容	評価項目
1. 製造準備	試作部品の製作	試作部品の製作
2. 試作部品の製造手順・工程の検討	試作部品の製造手順・工程の検討	試作部品の製造手順・工程の検討
3. 試作工程における製造条件の設定	試作工程における製造条件の設定	試作工程における製造条件の設定
4. 型・治工具類のセッティング	型・治工具類のセッティング	型・治工具類のセッティング

39 「固有技術探索チャート」への落とし込み方法《チャートの作り方》

固有技術探索チャートの作り方 (プロセス: 製造技能・技術)

● 「保有技能」
製品を製造するために、保有している技能

記入方法: 「チャート情報調査票」から主な保有技能とその担当者を抽出する。

記入例

- 1) 試作部品の製作
- 2) 試作部品の製造手順・工程の検討
- 3) 試作工程における製造条件の設定
- 4) 型・治工具類のセッティング

45 「チャート評価指標」の作成方法《評価指標の概要》

評価指標の概要

(1) 目的

- i) 固有技術探索チャートを客観的に評価するガイドラインとなる。
- ii) 評価を点数化することで改善活動のきっかけをつくる。

(2) 評価点グラフによる表示

- i) グラフにポイントをプロットする。
- ii) グラフを読み取り、強み、弱み、強化項目、改善項目など検討する。

【参加者の声】

- ・ 情報調査票、固有技術探索チャートの作成には、社内の広い範囲の情報が必要であり、調査することにより若手の人材育成にも役立つ。
- ・ 今回の講座受講で勉強した手法を若手中心に展開し、今後、会社として取り組みたい。